

中学校 2年 英語 「School Life Around the World」

授業のねらい

- 教科書の本文を正しい発音で読む。

I C T 活用の工夫

Office365 の Word の音声認識を活用

- 従来では一斉に音読練習をしたり、別室で個別に音読テスト等を行っていたが、この音声認識機能を活用することにより、自分がどこが読めていないかをその場で確認できるようにすることで、生徒が主体的に取り組めるようにした。
- 一人ずつ音読テストを行うのとは異なり、一斉に実施できるので時間短縮が可能となり、他の活動に更なる時間をかけられるようになる。

生徒の様子

- 音声認識を活用した活動では、生徒一人一人のペースで進めることができ、かつ主体的に活動することができた。自宅でタブレット端末を使い、学校と同じ環境で音読テストの準備をする生徒もいた。

成果

- 自宅で同環境の練習ができることで自宅学習につながった。また、今まで音読テストを実施するのに1時間以上かかることがあったが、一斉にできるので時間短縮ができ、その他の活動により多くの時間を割けるようになった。

課題

- 音声認識で認識したデータの保存を繰り返してしまうと音声認識のデータ量の上限に達してしまうことがあるので、保存せずに終了するなど工夫する必要がある。